

- 他会派の議員が行った、代表質問と一般質問の概要をご紹介します。

**【代表質問】**

**高屋直志（自民党、北桑田郡・船井郡）2000.2.24**

**京都市長選挙と八木町長選挙について**

京都市長選挙で、全区において圧勝のうちに再選の栄に輝かれました京都市長・榊本頼兼氏とまた同日おこなわれました船井郡八木町長選挙に三選圧勝の荣誉に浴されました八木町長・中川泰宏氏に心からお祝い申し上げます。京都市長選挙に際し、私ども自由民主党、各友党、そして多くの友好団体とともに、荒巻府政と協調のもと、21世紀に向け、京都のさらなる発展を願われ、健康都市京都をつくる会に結集をいただきました良識ある市民のみなさまの大きなご支援に、心から慎んで厚く御礼を申し上げます。なお八木町長選挙におきましても、荒巻府政との強い連携の中、八木町の発展をめざして、力強いご支援を賜りました関係のみなさまに、深い敬意を表し、衷心より厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

**1 日野小事件**（哀悼、真相究明と府民の安心・安全の確保に向けた努力を要望）

**2 当初予算と財政健全化**（①配慮した点、②健全化の見通し、③中小法人に配慮した外形標準課税導入、優良企業の立地促進等財源涵養）

[知事] ①人件費等内部経費の切りつめ、社会的に弱い立場の人や一般府民へのサービス維持に全力をつくし、21世紀を見据えた施策を着実に推進するなど時代の流れに即した施策の再構築に最大の意を払った。②指針に基づき、国からの財源確保、職員の昇給停止等内部改革、施策の点検・見直しをした。これで571億円を確保、財政健全化への第一歩となった。③税負担の激変緩和や中小法人への十分な配慮をした導入を要求している。

**3 環境問題**（①大気浄化機能、景観美化等に役立つ「植物の持つ機能の活用」、②学校や公共施設での壁面緑化等、③一般廃棄物の分別収集・リサイクルと自治振興補助金の活用）

[知事] ③紙パックは38市町村、ペットボトルは32市町村、空缶と空き瓶はすべての市町村が分別収集を実施。これらは市町村が保管、製造業者の委託を受けた日本容器包装リサイクル協会を通じて再商品化、リサイクルされている。自治振興補助金の対象となっている。

**4 市町村合併と過疎対策**（①市町村合併の方向と府の地方機関、②準備中の新過疎法の内容と市町村への影響、③新総合計画における過疎対策）

[知事] ①市町村の自主性・主体性を基本とした取り組みをすすめることが必要。この観点から市町村行財政研究調査会を設置した。平成12年中には一定の方向づけを打ち出す予定。府との関係は重要な要素であり、十分検討する。②昨年12月に出された「大綱」での指定要件では、現在指定の12町から1町（笠置）がはずれる。平成16年度までは過疎債の発行など特例措置がある。

**5 少子化対策** (①新エンゼルプラン、②総合周産期母子医療センター、③難聴スクリーニング、④放課後児童対策、要望ー2次医療圏における小児専用の救急医療体制充実)  
[知事] ①子育て支援を考える懇話会の意見をいただき、「京都府未来っ子プラン」の必要な点検をする。②平成11年の病床利用率は90%を超えるなど順調。③厚生省で実施方法などが研究されており、国の研究結果などを踏まえて対応する。④国の事業の対象とならない小規模のクラブの補助予算を提案した。

**6 障害者問題** (①身体障害者療護施設の経営支援と小規模作業所の社会福祉法人化、②障害児教育の将来像の検討)

[知事] ①府独自の施設整備補助金、利子補給補助金、職員処遇改善等補助金などしている。認可施設への移行を支援し、24が移行した。全国トップ水準の運営助成を12年度はさらに一人当たりの額をあげた。

[教育長] 府立学校のあり方懇話会で幅広く検討いただく。提言を受けて計画的整備をはかりたい。

**7 府民の森** (①施設管理の委託、②北桑田高校の協力を得た青少年によるログハウスの組み立て作業等の体験学習の提案)

[知事] ①京都府森と緑の公社に委託する。森の広場や宿泊施設等の運営は「日吉ふるさと(株)」に再委託する。

**8 林業振興対策** (府内産木材の需要拡大策と販売体制支援)

[知事] 来年度から、京の木材利用促進ネットワーク事業をつくる。市町村がすすめる府内産木材活用事業を積極的に支援する。

**9 企業立地の整備と企業誘致** (①北部中核工業団地、②新光悦村、③大宮町のエコ・クリエイティブ構想)

[知事] ①工事は順調にすすんでいる。平成13年秋には分譲開始できると考えている。企業誘致は厳しい状況にあるが、競合する団地の誘致策もふまえて、できるだけ早期分譲ができるようにしたい。②現在、整備計画のとりまとめをしている。京セラが進出の意向を示し、伝統産業での関心もある。③環境をキーワードに衣食住の関連産業が集積し、体験学習もできるものにしたい。

**10 鉄道と道路網整備** (①山陰線二条・花園間の高架複線化、円町駅の供用開始と利便性向上、②山陰線の複線化と園部駅のホーム側のエレベーター設置、③京 都縦貫自動車道の千代川・園部間の4車線化と丹波・綾部間の計画、④綾部・宮津道路推進と鳥取豊岡宮津自動車道・野田川以北)

[知事] ①開業時期が半年早まり、本年秋に開業。朝ラッシュ時には園部駅から京都駅へは快速列車が新設、時間も10分程度短縮、亀岡駅から京都駅へは1時間当たり2本の列車が増発等の見通し。②亀岡市では市民組織が確立されるなど、気運が高まっており、府も課題についての検討をすすめているが、鉄道事業者の投資採算性などが大きな課題。園部駅の改善は予算を出している。③4車線化は道路公団が工事をすすめており、千代川から八木中までは平成12年度内に完成予定。丹波綾部道路は、建設省が綾部和知間でトンネルや橋りょう工事がすすめられており、丹波和知間は予備設計がつづけられている。

**11 地元問題** (①国道162号栗尾峠と九鬼ヶ坂の抜本改修、②国道477号亀岡・八木神吉間の調査と府道京都日吉美山戦・殿田バイパス、畑郷)

[知事] ①今年度地質調査などをすすめている。今後技術的検討をする。周山バイパスは、埋蔵文化財の試掘を終えて来年度は発掘調査をする。②地質調査をすすめており、引き続き基礎調査をする。殿田バイパスはトンネル工事が完成、現在橋りょう工事をす

すめており、来年度末の供用をめざしている。畑郷地内の拡幅改良は来年度着手を予定。

## **【一般質問】**

### **上村卓男(自民党、京田辺市・綴喜郡)**

#### **1 学研都市を活用した新産業育成**

[知事] 来年度ATRや光量子化学研究センター等と連携して、府中小企業総合センターの支援のもと、府内の中小企業がこれらの機関の研究成果を生かしながら、新たな事業化に取り組むための実験プロジェクトをすすめる。予算案の「新産業育成支援事業」のなかに3千万円入っている。

**2 鉄道網整備** (①片町線の高速化・輸送力増強事業の効果、要望一片奈連絡線具体化への支援)

[企画環境部長] 阪神地域への動脈として利便性が格段に向上した。大阪方面への基幹駅である松井山手駅の折り返しなどの機能を京田辺駅に移し、高速化・輸送力増強をはかり、これに必要な京田辺駅の事業がJR西日本により平成14年春の開業をめざしてすすめられている。開業で、大阪方面へ、現在の朝4両編成1時間4本が、7両編成で最大7本の運行が可能となる。

**3 道路網整備** (①山手幹線の進捗状況、②国道307号裏白バイパスの進捗状況、要望一宇治木津線の1日も早い事業着工を、府道生駒井手線の推進)

[土木建築部長] ①16.4キロのうち7.1キロが操業、現在7カ所で延長6キロの事業をすすめている。これで延長10.5キロとなる。国道1号から府道生駒井手線までの間で唯一の未着手区間である京田辺市タツミ工区は来年度の用地取得に向けて準備をすすめている。残る3.3キロについては地元の協力を得てすすめたい。②平成10年度から事業の促進をはかっている。現在滋賀県境から約600メートルが来年度の供用に向け工事をすすめている。残りの区間は用地取得などすすめたい。

### **明田功(自民党、八幡市) 2000、2、29**

(**八幡市長選挙について**) このたびの選挙は対立陣営の言葉にもありましたように、「6年間にわたる菱田市政が間違いのないものであったかどうか、また、それを継承してもよいかどうかについて、市民が判断を下す大切な選挙でありました。その結果、大阪の知事選挙、京都市長選挙に引き続き、良識ある市民の良識ある判断がなされ、4月から迎える地方分権の時に臨んで、府市協調がいつそう期待できる結果が、牟礼新市長の誕生という当然の帰結としてもたらされたものであると、改めて今までの道の誤りなきを明確に再認識させていただいたところであります。これより後は、私も府議会議員として、八幡市と京都府とをしっかりとつなぐ太い絆の役割を誠実に力強く果たしてまりたいと考えております。寒風の中をわざわざかけつけていただきました知事をはじめ多くのみなさまのご支援に感謝を申し上げますとともに、さらなるご支持をお願いするところであります。

**1 雇用対策** (①日産車体の神奈川県への従業員の異動状況や下請関連企業支援、緊急雇用安定地域の指定等、下請企業離職者雇用創出奨励金の指定見通し、地元商店街の売り上げ減少に対する支援、②緊急雇用特別対策事業の活用等、③職安行政の国移管に伴

う府独自策と国との連携)

[府民労働部長] ①9月から順次異動。下請は、個別面談が始まっており、マイクロバス関係の取引先は地元企業を優先する方針と聞いており、府として受注開拓につとめ、来年度の「京の商い・賑わい創出事業」により宇治市内の商店街が共同で地域の消費者との連携を通じて、環境にやさしい商店街づくりを取り組みを支援する。離職者が発生する場合は職安と連携し、求人開拓等をするとともに、離職者向け短期職業訓練も活用していく。指定についてはもっとも効果的な時期にされるよう要望している。②来年度は雇用効果の高い事業を中心に伝統産業や新たに農業に従事する人、離職者の能力開発などや、市町村の雇用創出事業にも支援する。③地域性の強い事業や新規学卒者、高齢者、障害者の就職支援を重点に対策をする。国との連携をはかるとともに、京都府雇用促進協議会の設置を考えている。

## 2 南部地域の産業立地

[知事] 昨年9月から開催している「京都府南部地域におけるハイテク産業集積形成に向けた懇談会」において、特に高い成長が見込まれるITなどの産業をすすめることが重要との意見が多数出されている。来年度は学研都市を活用した新産業の育成事業を実施し、産業立地特別対策事業として新規成長産業集積などの具体的方策を検討する。

## 3 住宅問題 (①府営住宅の整備状況、②今後の住宅政策のあり方)

[土木建築部長] ①平成8年度からの5カ年計画で千戸を計画、平成11年度までに834戸の建設に着手、12年度164戸を含めてほぼ計画が達成できる。②昭和40年代に建てられた住宅が半数に及び、建て替えや改修などによる有効活用の検討が急務である。少子・高齢への対応、官民の役割分担などの視点を加え、新計画策定に取り組みたい。

## 4 教育 (①総合教育センター等における研修、②単位制高校の今後の導入、通信制高校の今後の方針)

[教育長] ①経験年数や職務分担、専門分野に応じて採用時から実践的な指導力を高める研修などを体系的に実施している。さらに派遣研修も実施。②単位制高校の入学希望が増え、西宇治高校では福祉、看護関係への進学者が増加、大学合格者も昨年を大幅に上回っている。朱雀高校定時制でも改善をはかっている。府立学校ありかた懇話会でいっそうの充実も含め今後のありかたを検討していただきたいと考えている。